

中村春堂 なかむら かつどう 書家。慶應四年七月二日豊前國生れ（一八六一）。諱尚友、字玄卿、通稱梅太郎。別號耕心齋、筆名春堂棟等。明治二十九年米松謙澄の知遇を得て洋典調査會に入り。二十一年小野蒼堂の師事し、のち草假名に於て有數と評せられた。雑誌『羽音字の友』主幹、及門の子弟三千人といふ。精華高等女學校、日本女子大學等にも教へた。

著書、『羽音字のしきり』（羽音字兼用）□（大正元年十月五日辰文館）、
『少年手紙の文』（大正二年十月一日辰文館）等。

